

各委員・幹事からの調査票回答結果

【食育・地産地消について】

(1) 現「酒田市食育・地産地消推進計画」に記載されている施策の4つの柱（以下①～④）について、計画書P19～24や進捗状況調査票をご覧ください、各団体で取り組んでいるものに☑をつけてください（①～④の左の□にチェック）。

また、①～④で☑をつけた柱について、各団体における達成状況で、あてはまるものに☑をつけてください（A～Dの左の□にチェック）。

①食を楽しみ、食から健康をつくる

- A. 達成できている
- B. 概ね達成できている
- C. あまり達成できていない
- D. 全く達成できていない

②食を学び、食を受け継ぐ

- A. 達成できている
- B. 概ね達成できている
- C. あまり達成できていない
- D. 全く達成できていない

③食を知り、食に感謝する

- A. 達成できている
- B. 概ね達成できている
- C. あまり達成できていない
- D. 全く達成できていない

④食を誇り、食を発信する

- A. 達成できている
- B. 概ね達成できている
- C. あまり達成できていない
- D. 全く達成できていない

【回答結果】

①A. 7.4%	B. 66.6%	C. 22.2%	D. 3.7%
②A. 9.1%	B. 68.2%	C. 18.2%	D. 4.5%
③A. 0%	B. 75.0%	C. 25.0%	D. 0%
④A. 5.6%	B. 61.1%	C. 27.8%	D. 5.6%

(2) 次期計画の骨子について、現計画に記載されている施策の4つの柱（以下①～④）をベースとして考えています。つきましては、次期計画で見直し（修正または廃止）をすべきだと思う柱に☑をつけてください。また、☑をつけた場合、その理由も記入してください（例、現時点で十分達成できているため。時代に即したのではないため）。

①食を楽しみ、食から健康をつくる（修正 廃止）

【回答結果】

修正 6.1%、廃止 0%

修正の理由

- ・各種イベント、講演会の開催や講師派遣を行うことについては、コロナ禍であり、感染防止対策を万全にして実施できるか、そうでない場合は中止も含め考えるべきと思います
- ・食を楽しむことは、食事の基本であり、無くてはならないものだと思う。その時その時のニーズに合った楽しみ方を考えていくべくだと思う。

②食を学び、食を受け継ぐ（修正 廃止）

【回答結果】
 修正 6.1%、廃止 0%
 修正の理由
 ・小中学生に食の安定確保や持続可能な農業の推進といった SDGs を学ぶ機会が必要。
 ・伝統的な行事やそれに伴う料理は、地域の大切な宝であるので、若い人達が受け継いでいけるような施策があると良いと思う。

③食を知り、食に感謝する（修正 廃止）

【回答結果】
 修正 3.0%、廃止 0%
 修正の理由
 ・充分達成していると思うが、外来野菜や調理方法など新しい知識を得ることも必要なため。

④食を誇り、食を発信する（修正 廃止）

【回答結果】
 修正 3.0%、廃止 3.0%
 修正の理由
 ・「市の6次産業化商品の利用拡大を働きかける」は、6次産業化商品があまりないので削除
 廃止の理由
 ・インターネットやLINEなどを利用し、より多くの発信ができると思うため。

(3) 食育・地産地消を推進するにあたり、現状の課題と思われる内容を記入してください。

1	学校給食等での食指導は、どの学校も同じレベルで取り組みがなされている。各家庭における食環境の差が大きくなっており、学校からのアプローチには限界があると感じている。	酒田市小学校長会
2	学校給食での地産地消を図ることができればいいのだが、価格や量の問題でなかなか献立には反映されにくい。	
3	コロナ感染予防のため「食を楽しむ給食」「食を知る調理実習」などができないこと。	酒田市中学校長会
4	保育園の食育は園内で子どもと保育士と行うだけでなく、家庭を巻き込んで取り組んでいくことで効果が出てくると思われる。どの様に家庭を巻き込んでいくかが大きな課題であると考えている。	酒田市公立保育園
5	市民の健康を考え、守ってゆく立場として、今後も「食」について、医学的立場から発信していきたい。	酒田地区医師会
6	食育は子どものときから教えていくことが大切。若者や子育て世代に対して、食育の重要性を理解して頂くように発信して欲しい。また、家庭生活では3食しっかり食べること、家族団らんの食事は「食育の日」19日のほか、できるだけ多くなるように努めて欲しい。	酒田市食生活改善推進協議会
7	地域の伝統行事がなくなり、郷土料理や食文化の継承が難しくなってきた。核家族で食べなくなっている状態。	

8	山形県栄養士会酒田地区会の会員が、食育・地産地消を推進する機会をふやす事ができる体制づくり。	山形県栄養士会酒田地区会
9	酒田は自然に恵まれ、豊富な食材にあふれているが、消費者の口が届くまでの人の手が足りなくなっている。	酒田市社会福祉協議会
10	地産一次製品の伝承、ブランド化、広告媒体を活用した PR。	酒田金融協会
11	一般市民への周知が徹底されていない。	酒田商工会議所
12	コロナ禍で外食の機会が減少し、機会があってもアクリル板で仕切られたりしており、コロナ前には戻れないのかもしれませんが、早く収束してもらいたいと考えている。	酒田ふれあい商工会
13	地元の子供たちに食の大切さや自分たちが口にするまでたくさんの方が関わっていることをもっとわかりやすく伝え、理解させ、地元の食材を食してもらえるようにしなければ、地産地消が進んでいかないと 思う。	庄内みどり農業協同組合
14	委員会の開催によって委員間で情報共有はされているが、委員あるいは各団体が連携した取り組みには発展していない。	山形県漁業協同組合
15	産直施設の盛り上がりには欠ける部分があると感じている。 出荷者の高齢化に伴い出荷量の減少、買い物に来る人の年齢層も高いのでイベントの開催や店の雰囲気活性化させて様々な世代にも酒田の野菜、果物を手に取っていただけるような取組が必要だと考えます。 産直施設だけで対応するのは難しいので市と各 JA が手を組んでの支援があればいいのではないかと思う。	すくすくめぐりネット
16	様々な団体が、食育・地産地消を推進する取り組みを実施していますが、家庭での取り組みがどのくらい進んでいるのか、生活にどのような変化が起きたのか見えないこと。	市子育て支援課
17	生活習慣病の予防や健康寿命の延伸のためには、若い頃からの食生活が重要であることを自覚し、健全な食生活を習慣化することが大切だが、若年者から働き世代を対象とした食育に関する取り組みが少ない現状にある。	市健康課
18	仕事や子育てなど時間の確保が難しい世代のため、講習会等での情報提供ではなく、乳幼児健診やホームページ等での情報提供を充実させ、食育・地産地消を推進することが今後の課題と思われる。	
19	SDGs と結び付けていくこと。	市交流観光課
20	家庭における状況把握が課題。	市農林水産課
21	学校給食において、普段使用する食材については地元産食材の使用を心掛けているが、割高となるため、限られた給食費から提供することには限界がある。地産地消については生産側と消費側全体で取り組む必要があるため、給食費以外で差額補填できる制度の構築が望まれる（米については一等米への価格差補填を受けている）。	市企画管理課
22	米についてはほぼ全量を地元産でまかなっているが、年間を通じて使用するジャガイモやにんじんなどの野菜が地元産でないケースが多く、利用率が頭打ちの原因となっている。	
23	船凍いかの提供が始まったが、年間 1 回程度であり、地元産の魚介類を安定的に供給できる体制とは言えない。	

24	コロナ禍のため、多人数が一堂に会して食事（親子給食試食会等）をしながら、食育や地産地消について学ぶ機会が設定しにくくなった。	市学校教育課
----	--	--------

(4) 次期計画で重点的に取り組むべきと考える施策やアイデア、ご意見・ご要望などがあればご記入ください。

1	SDGsを意識した取り組みがより求められている。郷土食(地産地消)の充実やフードロスの解決は直結する内容となるため、重点化されるべきだと思う。	酒田市小学校長会
2	児童は、酒田市の作物や田園風景などについて「あたりまえのもの」という認識で、そのすばらしさに気づいていない。本校は修学旅行で庄内以外の地域で庄内米の配付・PR 活動を行ったが、その反響がとても大きく、児童の愛郷心につながった。庄内や山形県以外の方から地域の食や文化を評価してもらうことが、誇りにつながっていくと思われる。(内には見えない)	
3	小中学校の大きな課題は「生活リズムの乱れ」である。近年はネット依存が深刻化している。	
4	年ごとに子どもは卒園し、成長し、と変わっていきます。日々活動を繰り返すことが大切であり、園ではずっと続けていきます。	酒田市法人保育園・認定こども園協議会
5	食育に関心が視覚でわかるようなポスターまたはA3サイズでのポスターなどを発信するのもよいと思う。	
6	まだまだ私にとっては知識がなく、意見を記入する立場ではありませんが、こんなに頑張られているのに一般の人はどこまで知っているのだろうと感じます。広報にチラシをはさんで配布、酒田市公式 LINE を活用していますが、そこに載せるとか、酒田市の良さをどんどん発信して欲しいですね。	
7	歯科医師会の活動も、アフターコロナ以降中断や変更を余儀なくされた事業が多くある。このため、新しい生活様式を踏まえた施策を検討する必要があると思われる。	酒田地区歯科医師会
8	関係団体はできることを工夫して実践し、頑張っていると思う。「酒田市食育推進計画」が施行された当時から比べると、素晴らしい成果が出ていると思います。	酒田市食生活改善推進協議会
9	引き続き、「食」から発信する教育・観光・健康といったテーマを深掘りし、市民にとって豊かな生活を享受できる体制に取り組んで頂きたい。	酒田金融協会
10	文化的な食生活は大切なことですが、日本の食料自給率や気候変動等によるリスクを考えるきっかけになるような施策も必要ではないかと思う。農業生産者の高齢化による減少や耕作放棄地の増加などによる農業そのものの衰退が原因と思うが、農業の魅力をたくさん知っていただきたいと思う。	酒田ふれあい商工会
11	庄内みどり農協の青年部より、ご提案ですが地元の小学校に出向きお米の先生として出前授業を行う。(コロナ禍では『ZOOM』などを使用し、リモートで行う事も可)。	庄内みどり農業協同組合

	また、バケツ稲に取り組んでもらう。お米を育てるのに、大変さがわかる。(種もみを提供)。	
12	幼児教育、保育施設及び小中学校等の給食において、地場産食材の使用割合の目標設定をし、その利用の拡大を図っていただきたい。一食単価の縛りはあると思うが、県や市、生産団体等関係機関の協力を得ながら、4つの柱すべてを網羅している給食を通して、食育・地産地消を推進していただきたい。	山形県漁業協同組合
13	コロナ禍が長期化する中で、自らの心身を健やかに保つための取り組みとしての食育・地産地消の意義の周知。	市企画調整課
14	各種取り組みにおける対象世代に応じた効果的な周知の方法等の検討。	
15	若い人(18歳から25歳くらい)たちの意識を高めるため、インスタやフェイスブック等のSNSを活用して発信してはどうか。	市学校教育課
16	食育は「味覚」を育てることを通して、本当においしいと実感できることが大切だと思う。幼少期からの特に子どもに対して、味覚について学ぶ機会が必要と思う。	市社会教育文化課

【6次産業化について】

(1) 現「酒田市食育・地産地消推進計画」の酒田市6次産業化戦略に記載されている以下の6つの取組方針(①～⑥。各方針の詳細は、計画書P15・16を参照)について、次期計画でも取組方針とした方が良いと思われる項目に☑をつけてください(複数回答可)。また、新規に取組方針として追加した方が良いと思われることがあれば、「その他」に☑をつけ、()内にその内容を記入してください。

- ①6次産業化の取り組みによる商品開発・販売の推進
- ②6次産業化の取り組みにより開発された商品の地域での利用促進
- ③学校、医療機関、福祉施設における給食での活用
- ④商品の販路開拓
- ⑤農商工観連携
- ⑥付加価値向上及びブランド化を進めるための地域資源の活用
- その他 ()

【回答結果】

①77.0% ②69.2% ③61.5% ④77.0% ⑤69.2% ⑥69.2%
その他の意見なし

(2) 6次産業化を推進するにあたり、現状の課題と思われる内容を記入してください。

1	取り組んでいくための専門のスタッフ、予算、宣伝。	酒田市社会福祉協議会
2	6次産業化に係る補助金・助成金の制度拡充。	酒田商工会議所
3	的外れかもしれませんが、他地区では「道の駅」があり、酒田地区においても「酒田ブランド」をアピールしながら、新鮮で採れたての農	酒田ふれあい商工会

	畜産物の販売や、地元の素材にこだわった専門店の味を楽しめるような施設があったら良いと思う。	
4	意欲ある人材や企業などの掘り起こしに一層力を入れる必要があるのではないだろうか。取り組んでいる人・企業が少なくなような気がします。	酒田市袖浦農業協同組合
5	消費者ニーズのデータ不足（調査不足）。	山形県漁業協同組合
6	ネット販売を個人でするのはハードルが高いため酒田市でネットショップを開設するのはいかがでしょうか？酒田市の風土や特色をPRしながら青果物や米、加工品を販売できたら統一感がありより魅力的だと思います。	すくすくあぐりネット
7	採算性を考慮した商品開発、販路開拓が大切。	酒田観光物産協会
8	当市では生産者が生産活動と販売で手いっぱい、6次産業化は育たない状況である。この際6次産業化戦略そのものを廃止し、SDGsの持続可能な農業を推進することを柱とした計画に変えたらどうか。	市交流観光課
9	市内加工施設の状況が不明であるため、生産者等への情報提供が難しい場面がある。	市商工港湾課
10	市内に生産者が地域横断的に参加できるコミュニティがなく、情報交換や異業種交流が進まない現状にある。	
11	サンロクとの連携強化。	市農林水産課

(3) 次期酒田市6次産業化戦略策定において、アイデア、ご意見・ご要望などがあればご記入ください。

1	小中学校の総合学習などと連携することも可能です。約10年前に旧飛鳥中で、地元商工会と「新商品」開発をして、販売する総合学習をしました。半年かけて商品が店頭に並んだり、フェアで売れるのは、生徒の達成感も高まります。	酒田市中学校長会
2	時間をかけて作ることができない家族や一人暮らしの人でも手軽に買い求めることができるレトルト食品の開発	酒田市社会福祉協議会
3	ブランド化自体が目標（ゴール）とならないよう、販売戦略を立て、消費拡大を図っていきたい。	山形県漁業協同組合
4	6次産業に興味がある人や実際に進めている人を集めて意見交換や商品の販売・展示会などイベントをしてみてもどうでしょうか。自分も加工をしているが他に加工をしている人を限られた範囲でしか知らないため交流して意見交換できたらうれしいです。	すくすくあぐりネット
5	市内で使える加工施設・事業者所有の有休施設の情報などの取りまとめが必要と考えます。市内外の加工施設の情報を集約して、市内生産者にわかりやすく情報提供していただきたい。	市商工港湾課
6	生産者同士や異業種事業者と交流する機会を定期的に設け、コミュニティ化を促進する。	
7	商品開発ニーズのある生産者について、支援分野の異なる部署間で情報共有の機会を設けること。	